

水辺の生きものからわかる

オオヘビガイ



きれいな小瀬川

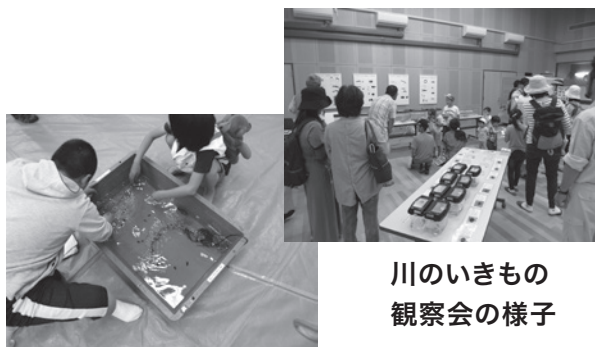
問い合わせ 環境整備課 ☎2154



サワガニ



ヘビトンボ(幼虫)



川のいきもの
観察会の様子

河川や海にはさまざまな生きものが住んでいます。生きものには、水がきれいな場所が多く見られる種類と汚れている場所が多く見られる種類があります。市内の河川や海には、どのような種類の生きものが生息しているのでしょうか。市が開催する栗谷地域を流れる玖島川と、小瀬川の河口に生息する生きものの観察会では、水がきれいな場所に多く生息する生きものが毎年見つかっています。

6月4日にマロンの里交流館で開催した「川のいきもの観察会」ではサワガニやヘビトンボの幼虫を見つけました。7月23日に小瀬川河口の干潟で開催した「小瀬川干潟観察会」ではヒジキ、また前年にはオオヘビガイを見つけました。これらは、水がきれいな場所が多くみられます。水辺の生きものから市内の河川や海がきれいであることが分かります。



干潟観察会の様子

【表1】小瀬川の水質の過去との比較

○大和橋で測定したBODの平均値(mg/ℓ)

平成17年	平成27年
1.7	0.9

【表2】県内の河川との水質の比較

○平成27年度に測定したBODの平均値(mg/ℓ)

測定河川／測定地点	BOD
小瀬川下流／大和橋(大竹市)	0.9
八幡川下流／泉橋(広島市)	1.7
太田川下流／旭橋(広島市)	1.2
沼田川下流／定屋大橋(三原市)	0.8
芦田川下流／小水呑橋(福山市)	2.4

【表3】県内の海域との水質の比較

○平成27年度に測定したCODの平均値(mg/ℓ)

測定海域	COD
大竹港(大竹市)	2.5
海田湾(広島市、海田町、坂町)	3.3
呉地先海域(呉市)	1.8
箕島町地先海域(福山市)	3.2

※ 環境省は、利用状況などにより、水質管理の区分に基づく類型を設けており、同じ類型の河川・海域を対象に比較しています。

※ BOD:生物化学的酸素要求量。水中の有機物を微生物が分解するときに必要な酸素量のこと、数字が大きいほど水が汚れていることを示します。

※ COD:化学的酸素要求量。水中の有機物を薬品によって分解するときに必要な酸素量のこと、BODと同様に数字が大きいほど水が汚れていることを示します。

河川や海に流れ込む有機物の量が多くなると、水が汚れます。汚れ度を表す数値から水質を確認しましょう。小瀬川の水質は、BODの数値が10年間で大きく減少しており、大幅に改善されました。【表1】また、県内における同じような利用状況の河川と海域での測定数値からも小瀬川や大

11月11日(土)に総合市民会館で開催されるコイ・こいフェスティバルの会場で市内で採集した水生生物の展示を行います。ほかにも、環境保全に関する展示や体験コーナーを設けます。ぜひご来場ください。

竹港の水質は良いことが分かります。【表2・3】